**MONAURAL & DUAL MONAURAL**
**POWER AMPLIFIER**

# No.530H Series

# 取扱説明書

## １.はじめに

このたびは、マークレビンソン No.530H シリーズ･パワーアンプをお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み頂き、正しい操作で、末永くご愛用下さい。

## ２． 開梱にあたって

本機の梱包重量は約 30kg です。開梱は必ず二名以上で行ってください。開梱、設置を容易にするため、ノンストップ加工された手袋が付属しています。設置、移動の際は、スピーカーターミナルなどの突起部を持たず、本体前後面下部を両手でしっかりと持って運んでください。
外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。もし、万一損傷や故障が認められた場合は、直ちにご購入店にご連絡下さい。
オリジナルの梱包材は、緩衝材等を含め、開梱後もお手元に保存下さるようにお薦めします。修理等のために製品を輸送されるような場合、オリジナル梱包以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意下さい。

## ３． 付属品

本体の他に、下記の付属品が納められていますので、お確かめ下さい。

●ＡＣ電源ケーブル×１本
●３Ｐ－２Ｐ変換ＡＣプラグ×１個
●3.5mm ミニプラグ付ケーブル（トリガーコントロール用）×１本
●手袋（開梱/設置/移動用軍手）×２組

## ４． 保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。
仕様変更、バージョンアップなどに伴うアフターサービスは、保障期間の有無にかかわらず有償となります。また、その際の送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

## ５． 設置

本機は天板のスリット部に格納されたヒートシンク（放熱板）から大量の熱を放出するため、上部および周囲には十分な空間を設け、熱の対流を妨げないように設置場所を決めて下さい。
本機は非常に大きな電流容量の電源を持っていますので、アナログ・プレーヤー、ヘッドアンプ、プリアンプ等の微弱レベルを増幅する他の機器の近くに設置すると、誘導ハムを引き起こすことがありますのでご注意下さい。スペース効率を高め、出力特性を十分に発揮させるために、本機をスピーカーの近くに設置することをお薦めいたします。

## ６．電源

本機の電源は、一般家庭でのご使用に合わせて 100V にセットされています。また、本機は大量の電流を必要とします。電源は他の機器との共用を避け、独立したコンセントを使用して下さい。テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

## ７．フロントパネル各部の名称と働き

**①インジケーターランプ**

本機の動作状態を LED ランプの点灯/点滅により表示します。本機の電源がオンになり動作中は、ランプが明るく点灯します。本機がスタンバイ状態の時、ランプは点滅状態になります。

**②スタンバイ・ボタン**

本機がスタンバイ状態の時、このボタンを押すことによりインジケーターが明るく点灯し、本機は動作状態になります。

動作中にボタンをもう一度押すとスタンバイ状態になり、インジケーターが点滅状態となり、音が出なくなります。

**《注意》**

本機のスタンバイボタンを操作する際は、必ずソース機器の動作を止め、プリアンプのボリュームを絞った状態で行ってください。

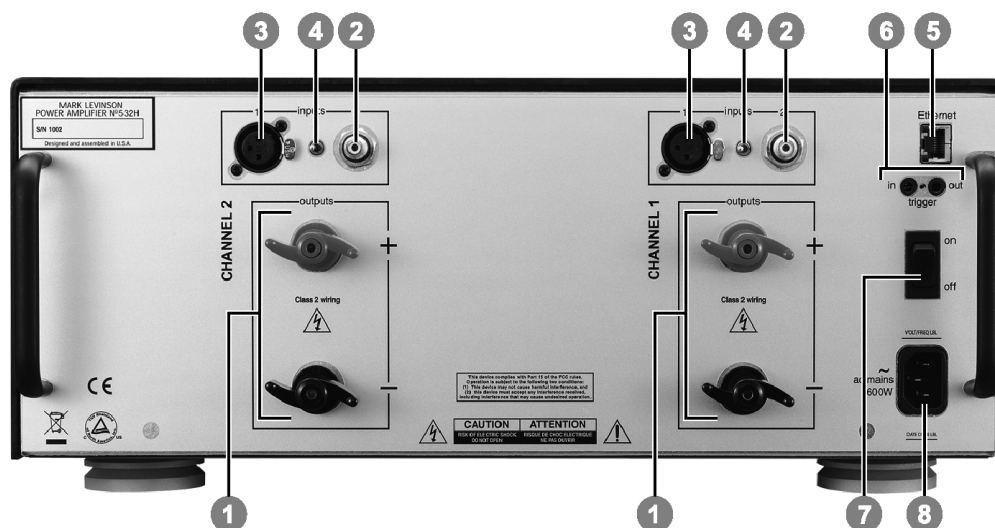
本機はスタンバイ状態において、主要アンプ回路は休止状態になりますが、内部オペレーション回路は通電されたままとなります。本機を完全にオフの状態にする場合には、リアパネルのメイン電源スイッチをオフにしてください。外出の際は必ずメイン電源スイッチにて電源をオフの状態にしてください。また、長期に渡り外出される際には、メイン電源スイッチをオフの状態にし、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き取っておいてください。

本機は次のような異常を感知すると内部の保護回路が働き、自動的に電源をオフの状態にします。この場合、異常が改善されるまで電源は入りません。

- 出力への直流漏れ
- ＡＣ電源の過大電圧もしくは電圧降下
- 異常温度上昇

スタンバイ・ボタンを押しても電源がスタンバイからオンの状態にならない場合は、メイン電源を切ってから電源や入出力ケーブルの接続を確認して下さい。接続に誤りがなく、または誤りを訂正しても電源が入らない場合には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでご相談下さい。

## ８．リアパネル各部の名称と働き

リアパネルの各部の接続は、接続するすべての機器の電源を切ってから行ってください。

※写真は No.532H の物です。CHANNEL 1 の入出力端子をＬ(左)チャンネル用に、CHANNEL 2 の入出力端子をＲ(右)チャンネル用にご使用ください。モノラルアンプの No.531H には、入出力端子は１組しか装備されていません。

### オーディオ入出力端子：

**①スピーカー出力端子(outputs ＋ / －)**

スピーカーケーブルを用いてスピーカーシステムを接続します。＋(赤)/－(黒)を間違えないように注意して接続してください。端子中央の穴はバナナ端子に対応しています。

本機の出力特性を充分に発揮させるために、スピーカーケーブルはできるだけ短くなるように配線を工夫してください。このため、本機をスピーカーシステムの近くに設置することをお薦めします。

《注意》

スピーカーケーブルを接続する際は、出力端子をショートさせないよう十分にご注意下さい。安全のため、スピーカーケーブル端末にはＹ型(またはＵ型)圧着端子を取り付けた上でご使用下さい。

トラブルを避けるため、本機の出力端子にシステム・セレクターなどの機器を接続しないでください。

**②アンバランス入力端子(inputs 2)**

ＲＣＡタイプのアンバランス出力を持つ機器を接続します。アンバランス入力を使用する場合には、④入力切替スイッチを“２”へ切り替えてください。

**③バランス入力端子(inputs 1)**

ＸＬＲコネクターによるバランス出力を持つプリアンプとの接続に使用します。バランス入力を使用する場合には、④入力切替スイッチを“１”へ切り替えてください。

クォリティーを充分に引き出すため、プリアンプとの接続にはバランス入力の使用をお薦めします。

本機のＸＬＲコネクターは、以下のピン配列になっています。

ＸＬＲコネクターのピン配列

**④入力切替スイッチ**

オーディオ入力端子を切り替えます。バランス入力を使用する場合にはスイッチを“１”へ、アンバランス入力を使用する場合には“２”へ切り替えてください。使用しない端子には、ケーブルなどを接続しないでください。

## コントロール端子：

**⑤コンピューター・コントロール端子(Ethernet)**

パワーアンプのオペレーション・ソフトウェアのバージョンアップやコンピューターを用いてのコントロールなどに使用するコンピューター接続ポートです。コンピューターとの接続には専用のアダプターとソフトウェアが必要ですので、むやみにこれらの機器と接続しないようお願いします。

**⑥トリガー コントロール端子(trigger in / out)**

他のＡＶ関連機器と組み合わせて使用する場合に、各機器のリモート・ターンオン・ジャックに３．５φミニプラグ付きケーブルで接続すると、接続した機器のスタンバイ・ボタンの操作により本機のオン/スタンバイをコントロールすることができます。ミニプラグ付きケーブルをト

リガー入力 (trigger in)に接続してください。
本機はＤＣ３Ｖ～１２Ｖのレベル出力(連続出力)を感知した時、動作状態となります。

複数のアンプを連動させる場合には、トリガーアウト端子(trigger out)から他のアンプのトリガー入力に接続してください。トリガーアウト端子には、トリガーインプット端子より入力された信号がそのまま出力されます。

**電源ソケット/メイン電源スイッチ**：

**⑦メイン電源スイッチ(on / off)**

スイッチを“on”側にすることで本機のフロントパネルの赤いインジケーターが暗く点灯し、約10秒後にメイン電源が入ります。このスイッチはパワーアンプを制御するオペレーション回路と保護回路を働かせるための電源スイッチで、このスイッチの操作だけではアンプのオーディオ回路を働かせることはできません。電源のオン/スタンバイの操作はフロントパネルのスタンバイ・ボタンで行います。
本機はスタンバイ状態の時、オペレーション回路を除くすべての回路がオフとなるため、電源をオンにした後本機の真価を発揮させるまでに若干のヒートアップが必要となります。

**⑧ＡＣ電源ソケット**

他のすべての接続が終わったことを確認した上で、ＡＣ電源ケーブルをコンセントに接続します。本機には、３極ＩＥＣソケット付きＡＣケーブルが付属していますので、このソケットを本機のＡＣ電源入力端子に接続した上で壁のコンセントに接続してください。本機は大量の電力を必要とするため、電源ケーブルは必ず壁のコンセントに直接接続し、テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

## ９．保守

お手入れの際には、柔らかい布を使用して乾拭きするようにしてください。汚れがひどい時には、薄い石鹸水に柔らかな布を浸し、硬く絞って汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いてください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりすることは避けてください。
お手入れの際は、本機及び本機に接続されている機器の電源を切り、接続ケーブルを外しておいてください。

## １０．規格

| モデルNo. | No.531H | No.532H |
|---|---|---|
| 定格出力(20Hz～20kHz,THD<0.5%) | 300W(@8Ω) | 300W(@8Ω)×2ch |
| 周波数特性(-0.5dB) | 10Hz～20kHz | 10Hz～20kHz |
| S/N比(1W基準) | 85dB以上 | 85dB以上 |
| 入力端子 | RCA(アンバランス)×1<br>XLR(バランス)×1 | RCA(アンバランス)×1/ch<br>XLR(バランス)×1/ch |
| 入力インピーダンス | 60kΩ(バランス)<br>30kΩ(アンバランス) | 60kΩ(バランス)<br>30kΩ(アンバランス) |
| 電圧ゲイン | 26.8dB | 26.8dB |
| 入力感度 | 1W(@8Ω)出力時：130mV<br>定格出力時：2.25V | 1W(@8Ω)出力時：130mV<br>定格出力時：2.25V |
| 出力端子 | 大型ﾊﾞｲﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾎﾟｽﾄ×1組 | 大型ﾊﾞｲﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾎﾟｽﾄ×1組/ch |
| 定格消費電力(±5%) | 300W | 600W |
| 外形寸法(幅×高さ×奥行) | 441×194×504mm | 441×194×504mm |
| 本体重量 | 23.8kg | 33.6kg |
| 梱包重量 | 28.4kg | 38.1kg |

※定格出力は、電源ケーブルを通じて充分な電力供給が得られた場合の数値です。